

□議員名：松尾数則

1 自殺対策について

論点	自殺対策に対する現状把握は十分か。
回答	平成22年度自殺で亡くなられた方は男性9人女性3名合計12名である。原因の主たるものは健康問題、経済問題です。健康問題についてはうつ病、統合失調症、アルコール依存症等の精神疾患によるものや体の病気による例が多いと言われている。

論点	ゲートキーパーの役割とその活動について
回答	自殺予防対策のゲートキーパーは悩んでいる人に気づき、必要な支援につなぐ人をさしている。ゲートキーパーとして心のサポーター養成講座を開催し現在は34名の心のサポーターがいる。今年度は100名の養成を考えている。

論点	自殺対策に対する市民病院の役割は
回答	うつ病により自殺をされる方が多いのは事実だが、健康問題その他の状況と絡んでおり、うつ病を直せば完了という問題ではない。神経科、心療内科等に相談することは勿論関係者皆で対応しないと自殺の問題は解決できない。

論点	子供を含む学校関係における自殺対策の対応は十分か。
回答	いじめについては日常的な観察に努めるとともに教育相談活動の充実を図ることにより早期発見早期対応に努めている。教員の精神疾患による病休、休職の増加は大きな課題であり学校教職員のメンタルヘルスの維持、増進を図るシステムに教育委員会と共に取り組んでいる

論点	自殺対策について今後の活動は
回答	自殺予防週間にかけて医療機関の相談先や窓口の連絡先を示したパンフレットを作成しSOS健康情報ステーション登録の事業所、職域連携で健康づくりを推進している事業所に配布する予定でいる。

	宇部健康福祉センターと協力しキャンペーンの実施も考えている。
--	--------------------------------

## 2 入札制度について

論点	市民病院の発注方式（DB方式）のメリット、デメリットは
回答	設計期間と施工期間のオーバーラップによる期間の短縮や受注者に設計リスクを移転できる等のメリットがある。デメリットについては入札後の変更はコストアップになる。設計と施工の統合の程度は受注企業の能力によるといった事があげられる。

論点	市民病院の選定方式である地元企業を活用した総合評価落札方式を用いた一般競争入札は
回答	総合評価方式は価格のみでなく品質両面にすぐれた工事が行われると考えている。地元企業の活用はもちろん病院局の考え方、環境面、省資源配慮に加えて、今後の維持管理の削減といった技術提案についても評価の対象にできるメリットがある。

論点	競争入札資格において社会貢献度の高い事業所に優遇処置を与えることは可能か。
回答	社会貢献度の高い事業者になんらかのバックアップを行うことは大切なことと考えているが、社会貢献は多種多様でありそれを評価項目にすることは難しい。総合評価方式の評価項目やプロポーザル方式による審査項目に加えることについては研究していきたい。